



小郡市立大原中学校 令和7年2月21日 第12号

# 大原中学校だより

「校訓：誠実」と「凡事徹底」 校長 野中文明



【学校教育目標】目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく未来を拓く生徒の育成

## 「プリントがありません」という生徒に対して、保護者の皆様ならどうしますか？

### 問題解決の当事者は誰でしょうか？

突然ですが職員室の私の席は、出入り口付近にあるので、職員室に用があって出入りする生徒の姿をよく目にします。生徒が入室する際に一番多く行われる職員とのやりとりは、以下のようなものです。

生徒：「〇〇先生に用があって来ました。入ってもいいですか？」

職員：「どうぞ。」

生徒：「失礼します。」

他にもいろいろある中で、最近、ちょっと気になる場面があります。例えば、次のような場面です。

生徒：「プリントが足りません。」

保護者の皆様なら、生徒が入室の際にこのように言ってきたらどうしますか？私は・・・何も言いません。少し待ちます。それでも、生徒が何も言わなかったら、「どうしたいの？」と聞き返します。すると、たいい生徒は「プリントが足りないのももらえますか？」と言うので、「分かりました。じゃあ準備するね。」と言って、不足分を渡します。なぜ私は、何も言わないのでしょうか？プリントの枚数が不足していたのはこちらのミスなので申し訳ない気持ちになりますし、すぐに不足分を用意して渡したいとも思います。しかしながら、このような日常的に起こり得る些細なことのように映る場面も、「実は大切な場面なのではないか？」と思うようになったからです。「プリントが足りません。」といった生徒は、

- 教室でプリントを配布する際にプリントが不足していたので、全員にプリントが行き渡らない。
- この問題を解決するには、職員室に行って不足分をもらえばいい。
- そうすれば、全員にプリントが行き渡らないという問題は解決できる。

と考えたのではないかと思います。もちろん、教室にいる教員から「職員室に行って取ってきて」と言われたのかもしれませんが、少なくとも職員室に行ってプリントを取ってくれば、問題は解決できると思って職員室を訪ねてきたのだと思います。つまり、その時点での問題解決の当事者は、その生徒ということになります。ところが、「プリントが足りません」としか言いませんでした。その瞬間、問題解決の当事者は私になりました。なぜなら、「プリントが足りない」という問題だけしか伝えなかったため、その問題をどうやったら解決できるかを考えるのは、伝えられた「私の役割」になったからです。私は、問題解決を他者に投げ渡すのではなく、最後まで問題解決の当事者として行動してほしいと思っています。ですから、「どうしたいの？」と聞きました。そうすると「プリントをもらえませんか？」という解決方法を当事者として相手に伝えることができました。プリントを自分で準備することはできないので、そこまでで十分です。生徒たちは、おそらくそんなことにまでこだわってはいないと思いますし、相手に投げ渡そうという意図も全くないと思います。こちら側が気になっているだけかもしれません。しかし、「プリントがない」「頭が痛い」「お腹がすいた」と問題だけを伝えれば、周りの大人が「じゃあ」と言って、そのあと「〇〇してあげるね」と言って代わりに行動している場面があるのではないかと思います。私も、たくさんあります。最近、そういう「大人が良かれと思ってとっている行動」が、かえって子どもの主体性を伸ばすことの妨げになっているのでは・・・？と感じています。保護者の皆様はどのように思いますか？

## 設定した目標を達成するために1日の中でどれくらいの時間を使ってきましたか？

### そもそも、1日は24時間ではない！

ちょっと気が早いですが、もうすぐ今年度が終わり、皆さんはそれぞれ進学・進級をします。今年の4月に1

年間の目標を立てました。また、学期のはじめには、その学期ごとの目標を立ててきたのではないかと思っています。どうでしょうか？目標は達成できましたか？3年生の面接練習で「将来の目標を教えてください。」という質問をすると「まだ、将来の目標は決まっています。」と答える人が結構います。「将来の目標=将来なりたい職業」と考えてしまうのかもしれませんが、「まだ決まっています。」という答えも本音でしょうし、そういう答えがあっても全く構わないと思っています。とは言え、「目標=将来なりたい職業」ではないので、目標を設定して日々の生活を送ることは大切なことだと思っています。なぜなら、目標を設定して達成に向けて行動することは、私たち自身の成長スのピードを上げてくれるからです。目標を設定することは、一人ひとりの時間の使い方にも大きく関わってくるのではないかと考えています。以前、皆さんにお話ししたことがあります、時間は皆さんに等しく「1日=24時間」あります。しかし、本当に24時間という意識でいいのでしょうか？例えば・・・、

睡眠時間 23時 ~ 7時 → 8時間

学校にいる時間 8時 ~ 17時 → 9時間

ここまでで、17時間です。これに、学校に行く準備や朝食、夕食やお風呂などにかかる時間として3時間を加えると、合計20時間になります。部活をしている人は、22時間くらいになるかもしれません。すると、残りは2時間~4時間です。つまり、1日に24時間あっても、自分が自由に使える時間は、実際のところ2時間~4時間ということです。この時間を、

毎日、ゲームやSNSに使って浪費するか？

毎日、学校から与えられた課題を「成長」ではなく「提出」することを目的として消費するか？

毎日、学校から与えられたこと以外に自分の「成長」のために10分でも投資するか？

で、できるようになること（成長）は大きく異なってくるのではないかと思います。例えば、ある人が、

毎日、10分間のドリル学習を平日の5日間行って自分の弱点を少しずつ克服する

と決めたとします。あくまでも「ドリルをすること」が目的ではなく、「弱点の克服」を目的として続けたとします。すると、

1週間で50分→1か月で200分→1年で2400分(40時間)→3年で7200分(120時間)

別の人が後から追いつこうとして、毎日1時間かけて追いかけても、120日つまり約4か月かかります。

ちょっと追いつくのは困難です。このように考えると、自分に与えられた時間は、1日24時間ではなく1日2時間というように意識を変える必要があるのかもしれません。目標を設定することで、その2時間のうちの幾らかの時間を自分の成長のために有効に使えたらいいなと思います。ちなみに、社会人の1日の平均有効時間は13分だそうです。しかも、勉強している人は、全体の4%で、96%の人が0分だそうです。自分の人生をよりよいものにするためには、その時に所属している場所や集団、置かれた立場やステージ、求められるスキルに応じて、自分自身を適応(成長)させていくことは、生涯を通じて大切なことだと思っています。だからこそ、なりたい自分という目標を設定し、自分の行動や思考を振り返り、必要なことを身につけたり継続したりするために習慣化する力が必要だと感じています。新学期や新しい生活が始まる時が目標を設定するにはいい時期だと思います。自分をコントロールすることを意識してみませんか？